



- 市中央図書館 ☎871-1400 午前9時～午後9時
- エスカード分館 ☎874-3132 午前9時～午後7時
- リフレ図書カウンター ☎871-1400(中央) 午前9時～午後5時
- 奥野生涯学習センター図書室 ☎875-1133 午前9時～午後5時
- 三日月橋生涯学習センター図書室 ☎874-1340 午前9時～午後5時

真壁白井座

人形浄瑠璃公演会

日時 3月24日(土)午後1時～2時30分

場所 市中央図書館視聴覚室(2階)

演目 「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」

出演 真壁白井座の皆さん

対象 市内に在住・在勤・在学の方

定員 80人※定員になり次第締め切ります。

参加費 無料

申し込み方法 2月7日(火)午前9時から電話

または市中央図書館カウンターでお申し込み

ください。

申し込み・問い合わせ 市

中央図書館 ☎871・1

400

【真壁白井座の歴史】

江戸時代、茨城県内各地に点在していた人形浄瑠璃のうち、真壁の白井座は代表的なものの一つであった。旧8月15日の風祭りで演じられたほか、他の町への出張公演が多かった。

大正時代に廃絶したが、残されていた人形を利用して古い伝統の復活を目指し、阿波の浄瑠璃を手本に練習している。2003年から披露している。

今月の行事予定 <場所：市中央図書館>

◆映画上映会◆ 2月19日(日)午後2時

『フランダースの犬(アニメ)』

◆牛久おもちゃ病院◆ 2月19日(日)午前10時～正午

*おはなしよんで…毎週水曜日午後2時

*おはなし会…毎週土曜日午後2時(2月11日はお休み)

*おはなしとんとん…毎月第2日曜日午前11時

*うさちゃんきいて…毎月第3金曜日午前10時30分



今月の休館日 ★全館休館日…2月13日(月)・27日(月)

画 聖 小 川 芋 銭

小川芋銭と俳句雑誌『ホトトギス』⑥

今回は『ホトトギス』から新春の牛久の風景を描いたものを紹介します。

まずは、花のようなものにねずみが飛びついている絵(図1)ですが、これは一般に餅花もちばなといい、五穀豊穣を祈願して作られるもので、牛久では「ナラセモチ」といいます。作り方は、新年の最初についた餅を、前日に刈っておいたナラヤクヌギの枝に、紅白に小さく丸めて付けます。飾る場所は地域によりさまざま

で、芋銭の暮らした城中町では、天井にぶら下げたり、ひっくり返した白に付けたりして土間に飾っていました。この餅花に「なぜねずみ？」と思うかもしれませんが、江戸時代の俳句にこの二つを詠んだ句があります。

「餅花や 鼠が目には 吉野山」(宝井 其角)
従ってこの絵は、このような俳句を踏まえたものと思われる。次に、子どもが節分の豆まきをしている絵(図2)ですが、子どもの頭上の提灯に注目すると、何やら模様が描かれています。これは、「渡辺星」(図3)という家紋の一部であり、始祖は渡辺綱わたなべのつなであることが分かります。渡辺綱は、源頼光に仕えた剛勇な武士で、丹波国の大江山で酒呑童子を退治し、京の羅生門で鬼の腕を切り落としたという鬼退治の伝説を持つ人物です。故に、この絵は「子どもは渡辺綱のように鬼退治しよう」と豆まきをしている」と読み解くことができます。

このように、芋銭の絵は、古典や俳句などの教養を身に付けることで、さらに絵の背景まで奥深く楽しむことができます。

小川芋銭研究センター学芸員 秦 美紀子



↑ 図3 渡辺星の例 (傘の紋様)



↑ 図2「追儺の人」 (明治44年2月号掲載)



↑ 図1 裏表紙絵 (大正15年1月号掲載)